

こうち福祉だより

374号

平成30年9月
(2018年9月)

河内地区社会
福祉協議会発行

「敬老の日」を 迎えるにあたり

戦後73年を迎え、河内地区内に於いて本年敬老の日を迎えられた571名の諸先輩の皆様へ、心よりお祝い申し上げます。

現在の敬老の日は昭和29年(1954年)に「としよりの日」として設けられたのが、始まりだそうです。この呼び方に各界から意義が起り、「老人の日」となり、そして昭和41年(1966年)に現在の「敬老の日」と改められ、国民の祝日となったものです。

敬老の日という名称は、とてもよいものだと思います。「国民の祝日に関する法律」には多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う「まさにその通りであり、今の社会を築きあげてきたのは、他ならない皆様方です。

あらためて心から、感謝を申し上げます。次第です。いついつまでもご壮健で、末長くご指導いただけますようお願い申し上げます。

9月17日の地区敬老会会場でお会い
致しましょう！

社会福祉協議会

会長 甲斐 譲



祭り夏盆踊り

8月14日の河内地区盆踊り大会の第一部「夏祭り」が昨年の雨天とは違い、好天に恵まれ開催することができました。

にぎやかな夏盆踊り

ソーメン流しは十メートル近い竹(二本)に、たくさんの子どもと大人が集まりにぎやかに食べていました。河内〇×クイズにも、多くの子どもたちが参加して盛り上がりました。最後は、迫力ある花火の打ち上げにたくさんの方々が歓声をあげました。今年も、友達や家族が集まり楽しい時間を過ごすことができました。

夏祭り担当 藤井利宏



第二部に移り、櫓の周りには大人も子供も一緒になって大きな踊りの輪ができ、河内音頭がつなぐ住民の心意気を感じました。また、河内の伝統「キソン」には盆踊り特有の哀愁も感じられ、地区芸能保存会の方の太鼓、歌で大きく盛り上がりしました。この盆踊りの開催に付きましては多くの役員さんの力添えで暑い中の作業、そして運営とご協力いただき紙面をお借りし感謝申し上げます。

盆踊り実行委員長 日本 治男

消防団の捜索活動支援

このたび西日本7月豪雨の被害にあわれました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たち河内消防団は、災害発生の際々日の7月8日から捜索活動支援に入りました。当日は安芸区の畑地区での捜索となり、道路が寸断され、わずかに残った一人一人が通れるほどの道を通り現地に入りました。が、人が流されたという地点では沢山の人からの通報が錯綜していて、いったい何人が被害にあっているのか全然わからない状況でした。人の見方によっては、その光景が様々に見えてくるからでしょう。地区の方に情報を得て結局は捜索対象とはしないことになりました。



矢野東7丁目。行方不明の高校生を捜索するため、手掘りで土砂の撤去をしています。

次からは矢野東、矢野町での土砂を取り除いての捜索支援でした。15分毎の作業ではありましたが、気温が35度近くになり疲労は予想以上のものでした。広島市の各区の全消防団員200名近が各方面で毎日、捜索支援を行いましたが、捜索範囲の

減少により7月29日をもって捜索は終了しました。

「6・29」「8・20」そして「西日本7月豪雨」。災害に対しては、これまで色々な対策が取られてきましたが残念なことに多くの被害者が出るようになりました。改めて先人の教えの大切さを思い知らされることとなりました。地域を知ることの大切さと、地元災害の伝承の必要性を各地に広げることが大事だと思います。

佐伯消防団 河内分団
分団長 大谷恒司

秋の献血にご協力を



毎年多くの方々から献血へのご協力いただき、心より感謝いたします。今年度は西日本豪雨災害、猛暑などにより輸血用血液の不足が懸念されています。また輸血用血液は人工的につくることができず長い期間にわたって保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液を十分に確保しておくため献血は必要不可欠です。次の通り献血を行います。一人でも多くのご協力をお願いします。

日時 9月2日(日)

午前9時～12時

場所 フレスタ河内店駐車場

河内地区献血推進協力会

会長 西本勝信